



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2023年
(令和5年) 4月号
NO. 188

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- 車座対話に向けて 赤枝会長沖縄訪問 <2面>
- 施設紹介(初富の里・千葉県) <3面>
- ズバリ回答! 人事・労務のお悩み <4面>
- 事務局から <4面>
- 介護保険部会「基本指針」見直し <2面>
- 施設紹介(グリーンヒル八千代台・千葉県) <3面>
- 実地研修 進捗状況 <4面>
- 尾島の視点 <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 入会施設の紹介 <4面>

都道府県車座対話が本格始動へ 介護報酬改定に向けて体制整備

23年度事業計画・予算案を可決

推進協 22年度第4回理事会

推進協は3月28日、2022年度第4回理事会をオンライン形式で開催した。5月下旬から「都道府県車座対話」を行うことなどを内容とする23年度事業計画案と予算案、入会承認の3議案を可決した。続く理事懇談会では24年度の介護報酬改定に向けた対応策を検討、了承した。



赤枝真紀子会長

理事会には赤枝真紀子会長と理事16人が出席した。冒頭あいさつで赤枝会長は24年度の介護保険制度改革に向けて二つの点を指摘した。まず推進協として求めてきた「特別養護老人ホームの特例入所の要件見直しについて、昨年12月に介護保険部会がまとめた「意見」では法律改正事項ではなく「地域の実情を踏まえ適切に運用」などと運用面の見直しにとどまっているとし、実効性のある改革になるのか注視すべきだとした。

複合型サービス新設に懸念

さらに、訪問や通所など複数の在宅サービスを組み合わせる提供される新しい複合型サービスの類型を新設する厚労省の方針に対しては多様なサービスがワンストップで受けられる利便性があるが、例えば複合型サービスを手がける法人が特養も運営していた場合、在宅の要介護者の「困り込み」が可能になる。赤枝会長は「これは将来の特養の勝敗を決することになるのでは」と懸念を明らかにし、議

論の動向を見極める必要があるとした。

車座対話を年内に10回開催

第1号議案の事業計画案には、5月27日に神奈川県で第1回が行われる「都道府県車座対話」の実施予定(23年度中に10回)が盛り込まれた。28年までに会員施設倍増を目指す5カ年計画(Mプラン)の一環。

また、6月に都内で次回の理事会と個室ユニット型施設推進協議会連盟(以下、ユニット議連)総会への参加予定が説明された。

またユニットリーダー研修実地研修については22年度まで新型コロナの影響で研修施設の受け入れ態勢が縮小したことから約1500人の未修了者がいる。23年度は可能な限り態勢拡大し、待機者の早期解消を図る。

認知症介護実践研修や加算に関する研修は前年度と同規模で行っていくほか、新たな研修も計画されている。その一つ虐待研修については24年度から介護に関わる全職員に年2回の研修を受けさせる義務が事業所に課される。eラーニングで完結する研修プログラムを用意し、施設内研修では手が回らない事業所などを対象に猶予期間である23年度から随時実施する予定だ。

述したユニットリーダー研修実地研修の受け入れが進むことから研修会収益の回復が見込まれるなど、ほぼ例年規模の内容となった。第3号議案は22年9月から今年2月までに申し込みのあった3施設を会員として、また1社を賛助会員として入会の承認を求める内容。いずれの議案も異議は出されず、原案通り可決された。

理事会終了後、理事懇談会が持たれた。赤枝会長が自身の施設に居室内の映像システムを導入したことを報告すると共に、同施設の八木副施設長が、ナースコールと連動して居室の様子を確認できる見守りシステムであることを紹介した。他の理事からもこうしたシステムの導入/改修費用や、国や自治体の補助制度についての情報提供などが行われた。

経営状況アンケートを独自実施

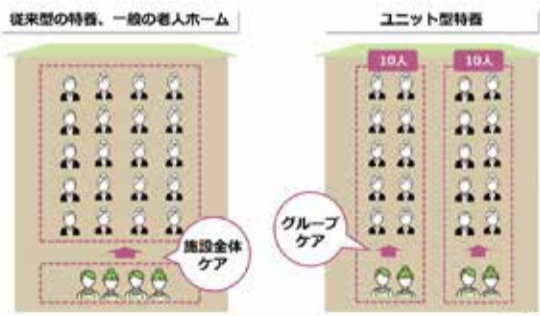
理事懇談会では24年度の介護報酬改定に向けた推進協としての対応策も検討された。前回の21年度改正の場合、20年8月に事業者団体ヒアリング、10月に経営実態調査結果が発表されたが、そのスケジュールに沿って動くのでは遅すぎるとして、施設の決算が出揃う6月上旬に約400の会員施設を対象に独自アンケートを実施し、利益率や人件費率など経営状況に関するデータを集めることが事務局から説明された。調査結果をもとに同月中旬をめどに開かれるユニット議連総会(森英介会長)に働きかけ、報酬改定を話し合う介護給付費分科会の議論に影響を与えたい考えだ。

久住会理事長の藤村二朗理事・介護保険委員長は「事業者団体ヒアリングもただ意見を述べる場になっていて(厚労省の)シナリオ通りに進む印象だ。ユニット議連との関係構築が大事だ」として、独自アンケートを使った働きかけの重要性を強調した。基本的な方向性は了承され、今後、執行委員会で細部が詰められる予定だ。

ユニットケアPR動画完成 ユニット型特養の 魅力を発信

昨年から総務企画広報委員会が中心となって手がけたPR動画「3分でわかる」ユニット型特養って何?」が完成しました。推進協のトップページからもご覧いただけます。動画はYouTubeにアップロードしてありますので、皆様の施設のホームページにリンクを貼ったり、入居を検討されている方にご覧いただいたりなど活用ください。

出演は「ゆるっとかいご」の高橋佳子氏と大塚小百合介護保険委員長(ケアプラザさがみはら施設長)。特養への入所を考える方に向けて、特養の種類やユニット型特養の特徴をわかりやすく解説しています。



従来型特養とユニット型特養のスタッフの関わり方を解説

入居者の【朝6時~10時までの過ごし方】

従来型	ユニット型
6:00-6:30 起床	6:00-6:30 起床
6:30-7:00 朝食	6:30-7:00 朝食
7:00-7:30 入浴	7:00-7:30 入浴
7:30-8:00 着替え	7:30-8:00 着替え
8:00-8:30 散歩	8:00-8:30 散歩
8:30-9:00 読書	8:30-9:00 読書
9:00-9:30 音楽	9:00-9:30 音楽
9:30-10:00 入居者会議	9:30-10:00 入居者会議
10:00-10:30 入居者会議	10:00-10:30 入居者会議
10:30-11:00 入居者会議	10:30-11:00 入居者会議
11:00-11:30 入居者会議	11:00-11:30 入居者会議
11:30-12:00 入居者会議	11:30-12:00 入居者会議

ユニット型の利用者の一日の過ごし方を解説

YouTubeの動画リンクはこちら <https://youtu.be/cvEeimV2MrY>

介護大学校から

第2期分校個別説明会開催

昨年11月に設置計画書を提出済みの10施設を対象に個別説明会を開催しています。各分校のニーズを確認しながら、分校の思いを最大限に発揮できるようにすることが目的です。募集・開講・eラーニング及びスクーリングの日程確認・調整、受講生募集に関する広報戦略、分校の強み・特色等々について情報共有しました。その上で、本校と分校が協力体制のもと、教育機関としての分校を盛り上げていくことを再確認しました。

第3期分校設置計画書提出

3月13日、推進協介護大学校第3期分校設置計画書を神奈川県に提出しました。今期は6施設が介護大学校の分校に仲間入りし、12月の認可・開講を目標に準備を進めています。

第4期分校説明会のご案内

第4期の分校募集が始まります。是非、説明会にご参加ください。
4月21日(金) 14時~15時
5月25日(木) 14時~15時
開催方式: Zoomウェビナー
お申し込みはホームページから(<https://suishinkyo.com>)
皆様のお申し込みをお待ちしております。

2023年度の研修予定

● 実務者研修教員講習会(6月・10月・3月) eラーニング43時間、オンライン研修2日間
● 受講対象者: 介護福祉士取得後実務5年以上の者等
● 介護福祉士実習指導者講習会(6月・8月・10月・1月・3月) eラーニング9時間、オンライン研修3日間
● 受講対象者: 介護福祉士資格取得後3年以上の者等
● 医療的ケア教員講習会(6月・12月) 1日間(集合研修またはオンライン)
● 受講対象者: 正看護師資格取得後実務5年以上の者等

車座対話に向けて始動

赤枝会長沖縄訪問

3月9日、赤枝眞紀子会長（一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会）は、沖縄県を訪問した。これは7月に沖縄で開催予定の車座対話に先駆け、県庁への後援の依頼が目的。赤枝会長はこの後、社会福祉法人憲章会特別養護老人ホーム東雲の丘（理事長石島衛、施設長石島薫）を訪れた他、翌日は社会福祉法人麗峰会特別養護老人ホームつじまち（理事長、施設長中真靖）及び社会福祉法人沖繩にの会特別養護老人ホームゆかぶ苑（施設長玉城好史）を回り会員への勧誘やコロナ禍で厳しい施設運営を強いら

れている現状について見学を行うと共に意見交換した。沖縄県庁との協力関係構築へ最初の訪問先の沖縄県庁には石島理事長と石島薫氏が同行した。面会した成瀬拓参事は県子ども生活福祉部参事は「ここ数年コロナ禍で現場の方々と交流することが限られていた。自身も厚労省から出向して一年になるが、ほとんど現場に出ていない。こうした機会を通じた交流も必要であり、後援の依頼の件は担当者に話してあるし、私も当日都合がつけば伺いたい」と話した。推進協は今後正式に手続を進める考え。



左から石島薫氏、石島理事長、成瀬拓参事、赤枝会長、懸上事務長

翌10日は特別養護老人ホームつじまちを訪問した。那覇市内、県庁の西側海沿いがあり、港も見える場所に位置しており、上部の階層では風がよく通っていた。コロナ禍で散歩にも出られなかったとのこと。施設では早くから眠りスキャンを全室に導入するなどIT機器の活用を積極的にしている。赤枝会長はユニットケアを取り巻く最近の情勢を説明すると共に入会について勧誘した。



中真理事長（右）

続けて訪れた会員施設のゆがふ苑ではコロナ禍の中での取り組みなどについて意見交換すると共に車座対話への協力について依頼した。
（沖縄県車座対話の予定）
日時 7月8日（土） 13時半～16時半
場所 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」



玉城施設長（中央）

今年度の車座対話開催地一覧

（関連1面）
推進協は3月28日の理事会において、令和5年度の車座対話開催地（別表）を決定した。12月の理事会において実施方針を示していたもの。

5月から12月までの予定で、宮城県から沖縄県までの全10カ所で開催する。厚労省による2024年度の介護報酬改定等現下の課題等の講演の他、地元の施設職員との身近な課題について意見交換すると共に厚労省職員の施設の視察も行う予定。対象者はユニット型施設に限らず希望者全員としている。参加費は無料。

別表	開催地	時期
第1回	神奈川県	5月27日（土）
第2回	宮城県	6月22日（木）
第3回	沖縄県	7月8日（土）
第4回	福井県	未定
第5回	奈良県	未定
第6回	三重県	9月頃
第7回	静岡県	10月19日（木）
第8回	群馬県	未定
第9回	香川県	未定
第10回	熊本県	12月頃



「基本指針」見直しを議論

24年度制度改正を展望する

2024年度の介護保険制度改正に向け、2月27日の介護保険部会で市区町村が介護保険事業計画を策定するためのガイドラインである「基本指針」の見直しが議論された。

見直しのポイントは

- ① 介護サービス基盤の計画的な整備
- ② 地域包括ケアシステムの深化・推進
- ③ 介護人材確保と介護現場の生産性向上の3点。

次期計画で記載を充実するべき項目として①では訪問介護と通所介護など複数の在宅サービスを組み合わせ提供できる複合型サービスの整備推進（3月28日理事会赤枝会長挨拶で引用。1面参照）の重要性が挙げられた。また②は総合事業の充実や「全国医療情報プラットフォーム」を用いた介護情報基盤の整備など、③は文書負担の軽減、介護施設・事業所への詳しい財務状況の報告義務付け（見える化）などが含まれている。同部会の議論を経て今年7月をめどに基本指針案が示される予定だ。

効率化議論は今夏に

一方、前記の介護情報基盤整備や財務状況の見える化などは全世代型社会保障制度構築に向けた健康保険法などの改正案に盛り込まれ、通常国会に上程されている。さらに昨年12月に同部会が出した「介護保険制度の見直しに関する意見」で先送りされた「給付と負担」のうち、1号保険料負担のあり方と「現役並み所得」「一定以上所得」の判断基準は同部会で今夏に結論を得る。多床室の室料負担の是非は介護給付費分科会で年末をめどに取りまとめられる。

特例入所運用改善へ通知発出へ

また同部会の「意見」でも課題に挙げられた特別養護老人ホームの特例入所（同。1面参照）については、厚労省調査によると約11%の自治体で運用されていない。同省は3月の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議で、入所指針の作成・公表に関する留意事項通知の改正を行うとし、それに従って特例入所が適切、円滑に行われるよう配慮するよう自治体の対応を求めた。

尾島の視点

盲点の窓を開けよう



ジョハリの窓

学生時代専攻した人文学で「人間とは何ぞや」という命題に強い関心を持ち、次第に「自分は何者なのか」という意識が芽生えたことを記憶しています。「あなたってこういうところがあるわよね」、「そういうところがあるあなたらしいわよね」と他者から指摘され、ドキッとした経験をしたことはありませんか。逆に「あなたはどだけ私のことを知っているの」という思いを相手に抱いたことはありませんか。そのような認識のずれは、時に人間関係に多大な悪影響を及ぼします。円滑な人間関係を構築するためには、ジョハリの窓の「盲点の窓」を小さくすることが大切だといわれています。この盲点の窓が大きい人は、自分では意識していませんが、相手を傷つけていたり、嫌な思いや不快な思いを与えたりしてしまうことがあります。介護福祉職は究極のサービス業です。ご利用者や同僚、管理職、さらには外部機関からも評価されます。自分とは他者からどう見られているのかを意識して「盲点の窓」を開くことが、サービスの質向上、自身の成長、チームの一体感に繋がるのではないかと思います。柔らかな春風を受けて「盲点の窓」を開いてみませんか。

千葉県 You & iグループ 社会福祉法人高嶺福祉会

特別養護老人ホーム 初富の里

～あなたがいて、私がいる 楽しい時間を共に過ごしたい～

【施設の紹介】



施設外観

【好きなものに囲まれた暮らし】
入居前と入居後の暮らしが継続したものとなるよう、生きもの以外であれば、



ユニット玄関

2011年6月、特別養護老人ホーム「初富の里」は千葉県鎌ケ谷市に従来型と個室ユニット型の混合型特養として梨畑だった場所に開設した。東武野田線新鎌ケ谷駅から徒歩20分、新京成線初富駅から徒歩15分、平坦で陽当たりの良い閑静な場所にある。施設の裏庭では近所のボランティアさんを中心に、ドライバ―さんやデザイナーの職員などの協力で色々な野菜を育てている。

○ユニット名はオノマトペ「にこここ」「のびのび」「ゆうゆう」などひらがな4文字で表されるオノマトペ（擬音語や擬態語）が使われている。開設時の初代施設長が名付けたそうだ。

自由を持ち込んでいただけよう働きかけている。Aさんの居室には仏壇や自宅ですべての筆箱が置かれていて、とても居心地が良さそうに過ごされていた。塗り絵が好きなBさんには家族にお願いして色鉛筆を届けていただいた。



Bさんが使っている色鉛筆



Aさん居室



金婚式

【思いを叶えるために】
車椅子で生活する入居者のMさん。金婚式には自分の足で歩いて奥様に花束を渡したいという思いがあることを家族から聞いた職員は、金婚式までの計画を立て、リハビリを開始した。

【居酒屋イベント】
毎月、夕食後にデザイナーの部屋を利用して「居酒屋」を開催している。メニューはおでんや焼きそば、にぎり寿司、やきとり、クリームあんみつなど。居酒屋担当の職員が注文をとって提供している。

【木村誠子施設長から】
長らくコロナでできなかったこと、みんなでやりたいことを再開しつつあります。楽しい時間と空間を取り戻し、ここで過ごす時間が一番楽しい時間だと感じていた。だいたいと思っています。



木村施設長



バラ風呂

金婚式当日、Mさんは車椅子から立ち上がり、ゆっくりと歩いて奥様に花束を渡すことができました。
【最新までの方々へ】
約9割の入居者を看取っている。関西出身の入居者が夜中に「うどんが食べた」と望めば、職員がコンビニに走って調達し、少しだけ口にしていただけました。お花とお風呂が好きなのは、家族と協力して特浴で「バラ風呂」に入っていた。その2、3日後には亡くなられたので、その方にとっては最後の入浴となった。

【取材後記】
金婚式や看取り期の対応のお話を伺って、入居者お一人おひとりの願いに少しでも応えたいと職員と共に考え、取り組まれている様子が伝わってきました。
(事務局・山崎)

〒261-0001 千葉県鎌ケ谷市東初富1-4-3 TEL 047-445-4700 FAX 047-445-4711 URL: https://youandi.takaminefukushikai.com/

【特養】(従来型) 20名・(ユニット型) 30名 (3ユニット) 【ショート】(多床室) 10名・(ユニット型) 10名 【デイ】 30名

千葉県 社会福祉法人 翠燿会

高齢者複合ケア施設グリーンヒル八千代台

～できることに目を向けて、諦めていたことを叶えたい～

【施設の紹介】



施設外観

2007年、地域密着型特別養護老人ホーム「グリーンヒル八千代台」はショートステイ、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援、訪問介護サービスを提供する高齢者複合ケア施設の中の特養として開設した。京成線八千代台駅西口から徒歩7分の場所にある。



(左) Nさんが献立表を書く机 (右) Nさんが日課として書いている献立表

【Nさんの目を向けて】
10年前、くも膜下出血で倒れ、ほぼ寝たきりの状態で入所されたNさん(80代女性)について、田中美代主任に話を聞いた。入所時は「家に帰りたい」と訴えていたNさんだったが、ある時、ドライブに出かけたところ、車から見える看板の文字を読み上げたそうだ。そこで、本を見てもらうと、声を出して読み上げるので、くもん学習療法をスタート。字も書くように

【LOVOTのマロンちゃん】
昨年2月、「介護ロボット導入支援事業」の一部補助を受けて、コミュニケーション

【取材後記】
田中主任が施設を案内してくれた際、「日高施設長が色々なことに自由にチャレンジさせてくれるので、ありがたい」と話してくれました。日高施設長の度量の大きさを感銘しました。
(事務局・山崎)

また、毎日書いている日記を縦に並べることでNさん自身で取り出しやすいよう配慮している。田中主任は「できないことに目を向けて、その方のできることを見つけてあげたい」と話してくれた。

【日高和枝施設長から】
約20年前、ユニットケア研修を受講して「認知症高齢者のための環境支援指針PEAP日本版」を知りました。受講後、従来型施設の認知症棟の入居者に対し、逆デザイナーを通してグループケアを1年間行ってみたら、環境を変えてみることで入居者の生活の質が向上することを目の当たりにしました。環境支援について職員にも学んでほしいと、昨年度から推進協が開始したEC研修を職員に



カーテンの開け閉めが出来るよう家具の位置を変更

なり、今ではユニットに掲示する献立表を書いたり、新聞を切り抜いたりするのが日課となった。ミキサー食だった食事形態も「常食を食べたい」という本人の希望に沿ってリハビリなどを行ったところ、常食が食べられるまでに快復した。また、窓のところで車椅子で行けるよう家具の配置を変えたことで、それまでは職員に頼んでいたカーテンの開け閉めをNさん自身でできるようになった。Nさんは「自分でカーテンが開け閉めできてうれし」と話してくれた。



(左) 田中主任 (右) 日高施設長



充電中のマロンちゃん

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西7-2-69 TEL 047-480-2777 FAX 047-480-7770 URL: https://www.greenhill.or.jp

【特養】定員29名 (3ユニット) 【ショート】 10名 (1ユニット) 【小多機】 29名

介護「ユース・ダイジェスト

2月26日(土)
3月25日(土)

■来年度の現役世代の介護保険料が過去最高に(2月27日)

厚労省の推計によると、40〜64歳が負担する23年度の介護保険料は平均で月6216円(事業主負担や公費分を含む)となり、22年度から111円増加。介護サービスの利用者増加に伴い、過去最高を更新。

■厚労省 第9期介護計画の基本指針ポイントを提示(2月27日)

24年度からの第9期介護保険事業(支援)計画作成に向けた国の基本指針について、医療・介護の連携強化や複合的な在宅サービスの整備、文書負担軽減などを充実させるべき項目として挙げた。

■厚労省 介護職の待遇改善に関する文書負担を軽減(3月1日)

3種類の加算を受けるために必要な計画書と実施報告書について、加算それぞれで対象者ごとに賃金改善額を確認する方式を改め、簡素化する。事業所ごとに賃金総額や賃金改善額の記載を求めるともやめ、法人単位で確認する。

■推進協 執行委員会を開催(3月3日)

28日に予定されている理事会に向けて開催したもの。来年度の事業計画として、車座対話を全国10カ所で行う方針を決定し、理事会に諮ることとした。

■厚労省 LIFEEの運用に関する課題を提示(3月6日)

政府の規制改革会議の医療・介護・感染症対策ワーキンググループでLIFEEへの入力やフィードバック活用の難しさを短期的課題として挙げた。ユーザーに優しい入力方法改善や現場の好事例を用いた取り組みなどを強化する。

■専門家組織 高齢者施設の面会許可などを提言(3月8日)

厚労省の新型コロナ感染対策アドバイザーボードで、専門家有志が5類移行後の対策に関するQ&Aを示した。高齢者施設での面

会について施設側が過度な制限をかけないよう配慮が必要だとし、介護従事者の旅行や外食も制限すべきではないとの見解を示した。

■介護事業所などへの行政処分が21年度は105件(3月8日)

介護施設・事業所に対する自治体の監査で指定取り消しや指定効力停止の処分が21年度は105件あったことを、同日厚労省が全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議公表した。

■厚労省 ユニット型施設調査で自治体に協力を要請(3月8日)

同日に示した全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議の資料で、23年度に行われる「個室ユニット型施設の整備・運営状況に関する調査研究事業」への協力を要請した。同調査は各地域での整備・運営状況や従来型施設と併設する場合の職員の兼務状況、ユニットケア研修の実態把握を行い、ユニット型施設の整備方針の見直しに活用される予定。

■推進協 赤枝会長沖縄訪問(3月9、10日)

推進協赤枝会長は、7月に予定されている沖縄県での車座対話に先立ち、県庁や東雲の丘(会員施設)へ協力の養成を行った。加えて非会員施設にも訪問し、ユニット型施設の置かれている現状を説明し、入会の勧誘を行った。

■追加経済対策による事業所の支援拡大を議論に要望(3月13日)

物価高騰による介護事業所の経営悪化について、全国介護事業者連盟など関係団体は地域包括ケアシステム・介護推進議員連盟(麻生太郎会長)に対し、追加経済対策で介護分野へのさらなる支援を求めた。昨年9月に設けられた電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金による支援内容が自治体で異なるなどとしている。

■医療と介護の同時改定に向けた意見交換会が始動(3月15日)

24年度の診療報酬と介護報酬の同時改定に向け、中央社会保険医療協議会(中医協)と介護給付費分科会の委員による第1回の意見交換会が開かれ、医療と介護の連携▽▽ハビリテーション・口腔・栄養▽▽高齢者に対応した急性期入院医療の3テーマについて議論が交わされた。今後、高齢者施設における医療や認知症などのテーマについても話し合われる。

24年度の診療報酬と介護報酬の同時改定に向け、中央社会保険医療協議会(中医協)と介護給付費分科会の委員による第1回の意見交換会が開かれ、医療と介護の連携▽▽ハビリテーション・口腔・栄養▽▽高齢者に対応した急性期入院医療の3テーマについて議論が交わされた。今後、高齢者施設における医療や認知症などのテーマについても話し合われる。

■介護事故対策を検討する余裕に乏しい特養が4割弱(3月16日)

介護給付費分科会で示された21年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査の結果によると、介護施設のリスクマネジメントの上で、事故防止に向けた課題として「業務多忙のため組織的な対策を検討する時間が確保できない」と感じている施設は、特養で36.9%、老健で44.6%、介護医療院で36.8%だった。

■全世代型社会保障法案が国会で審議入り(3月16日)

同日の衆院本会議で趣旨説明、質疑が行われた。出産育児一時金を後期高齢者医療制度からも賄う仕組みなど子ども・子育て支援のほか、介護情報基盤の整備や介護サービス事業者の財務状況の「見える化」などを盛り込む。

■厚労省 同一労働同一賃金への対応を関係団体に要請(3月17日)

老健局高齢者支援課などは全国老人福祉施設協議会など介護保険関係団体に対して、各事業者が賃金引き上げを行う際、非正規労働者に対して「同一労働同一賃金」の観点に立って処遇するよう、周知と働きかけの協力を要請した。

■物価高騰対策支援の交付金を増額(3月22日)

政府は物価・賃金・生活総合対策本部を開き、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の増額を決定した。予算額は1兆2000億円、そのうち7000億円が自治体が行う「推奨事業メニュー(医療・介護含む)」に充てられる。

ズバリ回答！人事・労務のお悩み 働き方改善で時間外労働の抑制を

【今月の相談内容】

ことし4月から中小規模の事業所は1か月60時間以上の時間外労働の割増賃金率が25%から50%以上へ引き上げられると聞きました。残業代の予算を確保すればよいでしょうか。

【回答】

50%以上に引き上げられるのは60時間を超えた部分のみで、60時間までは従来通り25%です。60時間以上の時間外労働を行う雇用の割合は5%以下といわれています。

労働基準法第36条により「労働時間を延長して労働させることができる上限は、1箇月について45時間及び1年について360時間(略)とする」とされています。

さらに、「1箇月について労働時間を延長して労働させ、及び休日時間未済であること、かつ対象期間の初日から1箇月ごとに区分した各期間に当該各期間の直前の1箇月、2箇月、3箇月、4箇月及び5箇月の期間を加えたそれぞれ

の期間における労働時間を延長して労働させ、及び休日において労働させた時間の1箇月当たりの平均時間80時間を超えないこと」とされています。今後の時間外労働の事務手続きは、非常に煩雑なものとなり、職員ごとの管理が必要

な状況となってきます。残業代の予算を確保するのではなく、働き方や休み方を見直して時間外労働の抑制を図り、求人活動でもアピールできるように改善に取り組みまればどうでしょうか。

厚生労働省「働き方・休み方改善ポータルサイト」に掲載されている働き方・休み方改革取組事例集(令和4年度版)を参考にされることをおすすめします。

推進協監事・特定社会保険労務士 栗田淳二

実地研修 進捗状況

7月から再開したユニットリーダー研修実地研修の進捗状況についてお知らせします。2023年3月には、実地研修の対象者全員に郵送でご案内を発送いたしました。

【2023年4月～6月 受け入れを予定している実地研修施設】

※コロナの影響で中止になる場合があります。

- 埼玉県 こうのすたんぽぽ翔裕園 ▶千葉県 明尽苑・地域密着明尽苑 ▶神奈川県 ニューバード、しょうじゅの里三保、しょうじゅの里小野、菅田心愛の里 ▶静岡県 第二長上苑 ▶岐阜県 燦燦、岐南仙寿うれし野 ▶愛知県 せんねん村矢曾根、瑞光の里緑ヶ丘 ▶三重県 ゆう ▶大阪府 ゆうり玄海園、シルバーケア吉野ヶ里、グランパランいまり ▶大分県 いずみの園 ▶長崎県 プレジールの丘 ▶鹿児島県 慈眼寺園、マモリエあいら ▶沖縄県 東雲の丘

2022年度の実地研修修了者は右表のとおりです。

【待機者が解消している都道府県】

岐阜県、佐賀県、鹿児島県
上記3県の実地研修施設で実習を希望される方は、座学実習後、速やかに実地研修をお受けいただけます。

実習月	実習生(名)
2022年7月	52
8月	43
9月	44
10月	120
11月	126
12月	69
2023年1月	38
2月	67
3月	90
合計	649

入会施設のご紹介

【東京】品川フィットネスクラブ
デイサービスセンター
(株)メディアキューアーズ
代表取締役 武田尚孝
管理者 川邊花純
東京都港区高輪4-1-18
高輪ビル1F

【会員施設数】395施設
(令和5年4月8日現在)

事務局から

10年ほど前にアルツハイマー型認知症と診断された母が特例入所できることになりました。推進協の研修で居室の設えの大切さを教わっていたので、入所のお迎えの車が来て母を見送った後、直前まで見ていたテレビやテレビ台、一人用のテーブルと椅子などを車に積み込み、施設へ搬入しました。

母はタブレットでネット配信のドラマを見たり、ゲームをしたりするので、コンセントに挿すタイプのWiFiルーターを契約し、居室に設置してもらいました。自宅の居室に近い環境を整えたことが功を奏したのか、落ち着いて過ごしているのと相談員さんから聞き、ホッとしています。WiFiルーターの設置については、事前に施設に確認したのですが、既に同様の入居者がいるそうです。居室用のインターネット環境が整備され、居室でオンラインの家族面会が当たり前になるのも、そう遠くない将来かもしれないと感じました。(山)

